

公共事業再評価調書(3回目再評価)

主管課：都市計画・モラル課

1 事業概要	事業名：平和祈念公園整備事業		前再評価年度：平成21年度	
	事業種別：都市公園事業	事業主体：沖縄県	(H7～H24)	
	事業箇所：糸満市	根拠法令：都市計画法、都市公園法	事業期間：H7～H30	
	(10,424)	総事業費(百万円) 11,675	費用内訳：補助1/2	(47.0ha)
(整備目的)	平和祈念公園は沖縄戦終焉の地摩文仁の丘を含む戦跡公園で、各県慰霊の塔及び平和の礎が建立され、世界の恒久平和の祈念と、平和の情報発信の機能を持つ公園である。近年の公園利用者の多様なニーズに対応すべく、本島南部地域唯一の広域公園として、レクリエーション需要にも対応できる公園整備を目的としている。			
1-2 前再評価以降の計画変更	・整備計画の変更及び総事業費の変更 ・事業期間の変更			
2 再評価 該当項目	<input type="checkbox"/> ① 事業着手から10年を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業着手から5年以内の工事未着手 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止			
3 再評価に 至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得等の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画の長期 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他(計画変更)			
4 事業の 進捗状況 (H26.3月時点)	平和祈念公園について、園路・広場ゾーンの駐車場の整備や、平和ゾーンの園路整備、防災関連施設の整備等を新たに追加し、公園利用者の多様なニーズに対応するため、整備計画の見直しを行った。			
	項目	事業費(百万円)	整備(ha)	用地取得(ha)
	計画	11,675	47.0	40.7
	実施済率	10,508 90%	45.8 97%	39.0 96%
4-2 前再評価以降の主な進捗	園路広場ゾーンへの遊具新設、駐車場整備、霊域ゾーンの園路改築等。			
5 事業効果の 評価指標 (検討年50年) (基準年H26) (単位:百万円)	①直接便益(旅行費用価値、施設利用価値)	12,542	① 用地費	2,839
	②間接便益(環境の維持・改善、都市防災)	31,133	② 施設整備費	8,836
			③ 維持管理費	1,848
	総便益	43,675	総費用	13,523
	基準年換算(B)	71,816	基準年換算(C)	27,112
	費用便益比 (B/C) = 71816 / 27112 = 2.6			
6 事業を巡る 状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：公園利用者数は平成21年度～平成25年度の平均で年間約100万人となっている。 ② 地元・自治体：特になし ③ 利害関係者：県への買い取り要望が寄せられた未買収用地2筆について、平成25年度に用地買収をした。			
7 事業の必要性 や効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 本島南部地域唯一の広域公園として、広域的なレクリエーション需要に対応し、また県民の多様なニーズに対応した公園整備を行う必要がある。子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園整備を行うことは近年ますます重要となっており、また当公園が糸満市の地域防災計画で広域避難地に指定されていること等から、災害時の応急対策施設整備や、施設のバリアフリー化の必要性は特に高い。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性) 当公園の進捗率は90%と事業は進捗しており、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 当公園は、観光客をはじめ年間約100万人の公園利用者が訪れており、特に毎年6月23日の慰霊の日には多くの関係者が参加して沖縄全戦没者追悼式が行われている。また、子供広場への遊具新設や広場、駐車場の整備により、遠足やピクニックなどの多目的レクリエーション活動の場としても利用者に親しまれている。			
8 今後の対応 方針・見直し	① 事業計画等：園路や駐車場整備のほか、公園施設のバリアフリー化、防災関連施設の整備を実施し、平成30年度の事業完了を目指す。 ② 対住民関係：問題なし ③ 執行体制等：現在の組織体制で計画通り執行は可能である。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前再評価での 主な意見等)	●来園する方は、高齢者や子供達が多いので、熱中症の防止や公園のイメージアップのためにも木陰の創出に力をいれて欲しい。 ●平和学習の場として、また心に感動を与える公園として、野外での演劇やミュージカルなどができる公園整備を進めて欲しい。			

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画